



加工用トマトの品種特性

概要 Abstract

長野県育成品種「なつのしゅん」と比較しつつ、加工用トマトメーカー独自品種について、セル成形苗(72穴)の育苗特性、一斉収穫時の収量特性を明らかにした。



標準品種	なつのしゅん	長野県野菜花き試験場
供試系統	KGM081	カゴメ(株)
	NDM-1	日本デルモンテ(株)
	NDM-3	
	NT703	ナガノトマト(株)

成果 Results

1. 各品種とも一果重は「なつのしゅん」より小さいが、規格内収量は上回った。
2. 各品種とも果実硬度、リコピン含量は「なつのしゅん」を上回った。
3. 規格内果の落果率は「なつのしゅん」より高く、機械収穫に適する。

品種・系統名	規格内収量 (t/10a)	同左比 (%)	一果重 (g)
なつのしゅん	4.81	100	92
KGM081	5.97	124	62
NDM-1	6.38	133	70
NDM-3	6.17	128	57
NT703	5.36	111	75

品種・系統名	果実の硬度 (kg)	リコピン (mg/100g)	規格内果の落果率 (%)
なつのしゅん	0.56	9.0	85
KGM081	0.63	10.0	98
NDM-1	0.69	11.5	98
NDM-3	0.63	12.4	87
NT703	0.57	11.4	98

普及 Dissemination

1. 試作に当たっては、各社で条件が異なるため、(一社)全国トマト工業会へお問い合わせ下さい。
2. 各試験結果は花・野菜技術センター(滝川市)において一斉収穫した場合の結果です。

連絡先 Contact

花・野菜技術センター
研究部 花き野菜グループ
0125-28-2800
hanayasai-agri@hro.or.jp